

## 第1 基本方針

球磨地域の水田地帯では、水稻、野菜、タバコ、畜産などが営農されている。畑地では、川辺川農業利水対象地を中心に露地野菜、茶、落葉果樹などの導入が推進され、生産性の高い大規模経営及び所得向上のための安定的複合経営の確立が急がれている。

他方で、担い手の減少と高齢化に対応した省力化技術の開発や、新しい米・麦政策実施に伴う水田利用の再構築、環境保全型農業に関する技術開発、新たなニーズや問題に対応した高品質・安定生産技術の開発など、喫緊の課題がある。

また、消費動向の変化に伴う業務加工用農産物や薬用作物の増加が当地域にも波及しており、新たな需要を満たす作物の選定や、それに適合した栽培技術の確立が必要となっている。

このため、普及・行政・農業団体などの関係機関と密接な連携・協調を図りながら、球磨地域が直面する技術的諸問題を迅速・的確にとらえ、球磨地域特有の気象条件などに適した水田作物、野菜、茶、落葉果樹の優良品種選定と、その特性に合った高品質安定多収生産のための栽培技術の開発を行う。さらに、省力・低コスト生産技術の検討を行い、各専門研究所と連携し、新技術の普及・実用化のための応用組立実証を中心に試験研究を進める。

## 第2 重要研究事項

### 1 球磨地域に適した水田作物・茶・落葉果樹の優良品種選定

国、県などで新たに育成された品種系統の中から、品質・栽培特性の両面で球磨地域に適する水田作物（水稻、大豆、麦類）、茶、落葉果樹（早生モモ）の品種を選定し、栽培のための基礎的なデータを収集する。

### 2 水稻野菜輪作体系下の作物安定栽培技術の開発（水田作部門）

水田農業は、高齢化や担い手の減少、農業経営環境の変化に伴い既存の水田作物目だけでは農業経営の維持が困難になっており、水稻と野菜の輪作体系確立が必要となっている。そこで、秋季露地野菜作付と作型・組み合わせが最適な水稻早生品種の安定生産技術を開発する。

### 3 クリ産地として信頼を得るための高品質安定生産技術の確立（果樹部門）

「ぼろたん」などの早生クリは、収穫・出荷後に発生する腐敗果、開花直後に発生する虫害果など課題が残っている。そこで、「ぼろたん」におけるブランド確立のため、腐敗果、虫害果の発生軽減技術を確立する。また「ぼろたん」は、他品種との混入がない出荷が求められることから、熟期や外観が異なる「美玖里」を受粉樹として推奨している。そこで、「美玖里」の栽培特性を明らかにする。さらに、クリ生産労力の大部分を占める収穫時間を簡易な方法で短縮する技術を開発する。

### 4 緑茶ドリンク原料茶生産におけるペレット堆肥を活用した施肥体系の開発（茶部門）

茶価の低迷や需要動向の変化から大規模機械化体系の球磨産地などでは、緑茶ドリンク原料の生産が増加している。緑茶ドリンク原料茶は収量重視の生産体系で、それに合った施肥方法の確立が望まれている。一方では、環境保全の観点から牛ふん堆肥の有効利用が求められている。そこで緑茶ドリンク原料の生産において、地域資源である牛ふん堆肥を有効活用した施肥技術を確立する。

### 5 露地野菜などの作期拡大と生産安定技術の確立（野菜部門）

球磨管内では、農産価格の低迷・生産コストの上昇による農業所得の減少や葉タバコの廃作などにより地域農業の活力低下が懸念され、これを克服するため、露地野菜などの生産拡大に重点的に取り組むことが検討されている。そこで露地野菜について、地域に合った品種選定や播種時期などを検討し、作期拡大と生産安定技術を確立する。

### 第3 試験研究課題一覧

【球磨農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
水田作・茶・果樹	1. 多彩なくまもと農業の魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) 球磨地域に適した水田作物・茶・落葉果樹の優良品種選定	1,204	県単	① 球磨地域に適した水田作物（水稲、大豆、麦類等）優良品種の選定 ② 球磨地域の機械化管理体系に対応した茶優良品種の選定 ③ 球磨地域の施設栽培に適した早生モモ優良品種の選定	S27～継続 S53～継続 S58～継続
水田作・果樹・茶・野菜	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 水稲野菜輪作体系下の作物安定栽培技術の開発	842	県単	① 早生水稲品種の安定生産技術の実証 ② 露地野菜後早生水稲の効率的な窒素利用技術の確立	H27～H29 H27～H29
		(2) くまもと稲作をきり開く特色ある水稲有望系統の栽培技術の開発(再掲)	808 総額	県単	① 水稲有望系統「熊本58号」の極良食味生産安定技術 [球磨農業研究所、農産園芸研究所、高原農業研究所]	H27～H29
		(3) クリ産地として信頼を得るための高品質安定生産技術の確立	1,220	県単	① 腐敗果発生軽減技術の開発 ② 「ぼろたん」の受粉樹「美玖里」の栽培方法 ③ 早期（6月）の虫害果発生軽減のための防除技術の開発 ④ 簡易な収穫方法の開発	H26～H28 H26～H28 H26～H28
		<b>新規</b> (4) 緑茶ドリンク原料茶生産におけるペレット堆肥を活用した施肥体系の開発	801	県単	① ペレット堆肥と尿素を組み合わせた施用方法の検討	H28～H30
		<b>新規</b> (5) 露地野菜等の作期拡大と生産安定技術の確立	999	県単	① 露地野菜の作期拡大と生産安定技術の確立 ② 新規導入品目の検討と生産安定技術の開発	H28～H30 H28～H30
		(6) 加工用ホウレンソウの機械収穫に対応した多収抑草技術の開発	2,528 総額	外部資金	① 雑草混入抑制技術の開発	H26～H28

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

**組替**：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

**延長**：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

**短縮**：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題